

BCAO 関西地域勉強会 第 37 回地域勉強会 議事録

1. 概要

- (1) 日時: 2009 年 11 月 18 日 (水) 18:45 ~ 20:30
- (2) 場所: 大阪ガス株式会社 「1 北 A - 1 会議室」
- (3) 座長: 廣本 (神戸大学)
- (4) 書記: 日下 (住友電工)
- (5) 出席者: 19 名 (順不同、敬称略)
角 (日本建築総合試験所)、小川 (アイアイジェイテクノロジー)、萩原 (大林組)、
前田 (富士火災)、加瀬 (大阪科学技術センター ATAC)、川口 (船井電機)、福島 (清水建設)、
藤村 (竹中工務店)、柳父 (大阪ガス)、佐原 (鈴与)、野原 (京セラ)、速水 (大阪地下街)、
伊藤 (TeleContinuity)、大西 (神戸大学)、大舘 (ユー・エス・ジェイ)、大森 (ユー・エス・ジェイ)、
池田 (積水ハウス)、廣本 (神戸大学)、日下 (住友電工)
- (6) 議題: 「事業継続に関する国内及び ISO におけるガイドライン等開発動向について」
(発表: 廣本 神戸大)

2. 内容

- (1) 新入会員・各位挨拶: 積水ハウス・池田さんよりご挨拶いただいた。
- (2) 「事業継続に関する国内及び ISO におけるガイドライン等開発動向について」 (廣本)
配付資料に基づき概要説明。なお、原文と仮訳を示した ISO/CD22301 は回覧のみ。
以下主な論点のみ記載する。詳細は配付資料参照。

: 国内動向

- 内閣府「事業継続ガイドライン第二版」の公表。目標復旧レベルの明示等。
- 国交省関東地方整備局「建設会社における災害時の事業継続力認定」。認定会社を HP で公表。
- “ 四国 ” “ 建設会社における災害時の事業継続力認定”。四国の会社 12 月公募。

: ISO における動向

- ISO/TC223 (社会セキュリティ担当) において規格を検討、現在 CD22301 (委員会ドラフト) 策定中。
「Societal security-Preparedness and continuity management systems-Requirements」(邦訳「社会セキュリティ - 緊急事態準備と業務継続マネジメント - 要求事項」(仮)) が正式名称。以下略して PCMS。
- CD22301 は PAS22399 (ガイドラインを想定) と違い、書面に書くべき要求事項を記載。
- PCMS 構築では経営者の責任が最も重要。責任者の任命、内部監査の確実な実施など必要。
- PCMS 人材の力量 (competence): 各組織が決定し、維持・管理する必要がある。
- PCMS の監査: 計画に沿った実施・維持、評価・見直し、経営陣への報告をすること。

: 質疑応答 (主なもの、順不同)

- ISO22301 の見通しは? 大手企業など支配的ユーザや市場の動向に左右されると推察される。
- PAS 文書とは? 「Publicly Available Specification」のこと。
- competencies (力量) とは? 各組織が決定するが、外部基準による場合もあると想定される。
- PCMS 監査は誰がするか? 監査対象から独立した社内又は社外の人材がおこなう。
- PCMS における「戦略」の扱いは? 検討過程で落ちた可能性はあるが詳細は不明。

3. 次回の関西支部会合・意見交換会・懇親会

日時: 2009年12月18日(金) 17:30 ~ 20:30、19時以降に懇親会

場所: 西本町インテス シエロ

担当: 支部会合 座長: 角(日本建築総合試験所)、書記: 小川(アイアイジェイテクノロジー)

意見交換会 座長: 田中(グリコ栄養食品)、書記: 未定

以 上